# 商品別売上予測プロジェクト スケジュール評価レポート

以下は、作成された9週間のアジャイルスケジュールに対する構造的評価結果です。各項目は20点満点、合計100点で評価されています。

## ✅ スケジュール評価（100点満点）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価軸 | 評価基準 | 配点 | 評価 | コメント |
| 🎯 ゴールの明確性 | 各週に明確な目的・完了条件があるか | 20 | 20 | 各週に目的が明確で、セールス向け成果にもつながっている |
| 📆 実行可能性 | タスク量、時間配分が現実的か | 20 | 18 | 実行可能だが、W2〜W3の作業量がやや多い |
| 🔁 柔軟性・変更対応力 | 変更対応が構造化されているか | 20 | 20 | W9で変更対応を明確に設計、変更管理ルールも整備済み |
| 🤝 ステークホルダー連携 | セールスチームとの連携が取れているか | 20 | 20 | 毎週レビューとすり合わせがあり非常に優秀 |
| 📈 価値提供タイミング | 途中で成果物を出せているか | 20 | 18 | W3時点で簡易な予測物があるとより理想的 |

## 🎯 総合評価：96点／100点

このスケジュールは、目的の明確さ・成果物の設計・ステークホルダーとの連携・柔軟性において非常に高い完成度を持っています。

特に、W1〜W3の早期段階でセールスとの方向性すり合わせを明示的に行っている点、レビューサイクルが毎週組まれている点は、非常にアジャイル的で実務的な設計です。

一方で、W2〜W3の作業負荷がやや多く、早期に軽量な予測出力（プロトタイプ）を提示することで、価値提供のタイミングをさらに前倒しできる余地があります。